日刊(但シ日曜祭日翌日休刊) 一ヶ月廿五錢 郵税十五錢 一部二錢
廣告料 一行四十錢 場所指定 二十錢増
發行兼編輯印刷人 牛谷政喜
發行所 福島縣平町大町二三 新いわき新聞社

常識講座

ヘッドは頭とか首または頭領の意だ、ヘッドエークと云へば頭痛のことでヘッドラムまたはヘッドドラマイトは狂人、頭も軀も正調を失つた酔つぱらひを指してビッグヘッドと云ふ

村制と永別の村會
源宗氏の負債免除
各種積立金で臨時諸費運用
殘金で平窪協會を創設

平市に合併せる平窪村は去る三十一日午後一時愈よ村制と永別の村會を招集して名殘の決濟を附議可決したが當日は全員の出席で村の廢止に要する自治功勞者の表彰並びに吏員の退職慰勞金その他を各種積立金一萬四千圓より五千余圓を運用することに決め殘の八千余圓は平窪協會を組織して同會の基金とし其の利子を以て窮民救濟、保健衛生、就學奬勵の如き社會事業をなすことの方針に決したが豫ねて問題視されてゐた村盤木田源宗氏の父今は故人の源一氏が同村長當時公金保管に宜しきを得なかつたと云はれる磐銀破錠の豫金損害三千四百圓はこれを免除することに決して一切を無事解決した

平市役所事務分課

平市役所では去る一日からの市制實施と共に合併した平窪村吏員を入れて人事關係を圓滿に解決なし事務の分課を左記の如く決した

▲産業課、戸籍、兵事課擔主任草野主事(元平窪村長)▲學務課、庶務課、工務課擔主任酒井助役▲財務課、會計課擔主任西野收入役

配屬將校會議

磐中及び平商業の中村配屬將校は來る十八、九兩日白河中學校に於て開催する配屬將校會議に出席すると

米共販値保合

石城郡販聯昨一日の俵米共販は二十名の競爭入札で左記相場で九百七十八俵全部取引された

▲平五六俵(十二圓廿八錢)同二號双葉米六〇俵(四十錢)山田二二俵(廿七錢)鹿島一五(廿二錢)夏井三三俵(二〇錢)高久八〇俵(卅三錢)神谷四一俵(廿八錢)植田一二〇俵(廿六錢)大野八七俵(廿七錢)同二號八七俵(廿六錢)飯野三二俵(同)勿來一〇五俵(卅七錢)平窪五〇俵(二五錢)

飯野當選村議

石城郡飯野村では昨一日村議改選を行つたが有標者六五九投票六〇四當選者左の如し

▲三三山崎郁子 三〇草野又三郎 六〇鈴木秋元 五一山崎甚內 四四渡邊廣一郎 四四山崎貞次 四三鹽千治 三九鈴木榮太郎 三八江尻桃太郎 三八山崎粂七 三二堀松治 三二北郷喜多治 ▲次點江尻銀作 山崎光重 坂本政一

祝市制の 旗行列

平市の四ヶ小學校は昨一日の市制實施旗行列が降雨のため今二日に延べて午前八時から市內を一週しなほ市內各町ではお祝ひ氣分にさめず當日も煙火その他で終日した

平市青年團の幹部協議會

平市の青年團は來る四日午後七時半から住吉屋本店に幹部會を開き資金造成につき協議をなすと

病夫の發作異狀
妻に頻死の重傷
昨夜磐崎村の第二磐炭で
鶴ハシにて滅多打ち

石城郡磐崎村の第二磐炭坑夫同村上湯長谷居住宮城縣桃生郡大川村生れ武山定治(三七)は本年一月頃から心臟病のため作業不能で療養してゐたがその爲め家計不如意となり神經衰弱になつてゐるところへ去る一日夜七時頃持病で苦しみ出した際妻はる(三四)は夫の長い病ひに驚かず醫師を招ばうともしないので發作的に異狀の度を增し冷淡だと憤慨して元能付鶴嘴を自宅六疊間で打ふるへはるの頭部顏面を滅茶苦茶に毆打骨膜に達する刺裂傷を負はせ瀕死に陷らしめ駈つけた平署に取押へられ被害者は即時同坑診療所の手當中だが生命危篤である

恩師の胸像除幕式
昨日平市制の祝意に併せて
才槌小路武藏鐵工所で

平市の才槌小路武藏鐵工所の門弟從業員二十余名は現當主稻吉(六一)翁の恩に酬ゆべく座像を鑄造中であつたが此の程竣功して昨一日同市の誕生を祝ふに合せて午前十時除幕式を擧げた、稻吉翁の一家は埼玉縣川口出身で實兄が磐城炭鑛鑄物職長を永く勤め其の後平町に獨立の鐵工場を起して病死の際東京小石川陸軍砲兵工廠に勤めてゐた稻吉氏が故兄の葬儀に參列したのを其まゝ同園の懇望で現工場を經營することになつたが鑄物工に優れた技を有し二十有余名の優良な技生を出だけてゐると

保護者會の新役員

平市の小學兒童保護者會は從來各校を聯合されてゐたが市制の實施で去る三十日各校每の分離につき第三小學校に聯合總集會を開き各會長その他の役員を左記に決した

第一校保護者會長阿部政右エ門 副會長山崎忠兵衛 理事佐々木龍若 千葉彥治 松野尾繁雄 小野金太郎 川崎文治

第二校會長大嶺庫 副藤田榮助 理事關內正一 小野圓次郎 馬場武太郎 永山勇吉 酒井喜代正

第三校會長井上貞次郎 副諸橋元三郎 理事根本品藏 多田井笑次郎 岡田千藏 吉田喜代次 小宅嘉久治

市の誕生を祝す

平潟の佐川生

待望の平市實現目出度存じます他鄕に在る身も故里の發展は嬉しき限り當日の全市の歡呼は如何ばかりかと思ひやられます、

薰風のちまたに滿つる
どめきかな

市と共に貴紙の發展を祝します、

神谷にチフス

石城郡神谷村の佐藤きみい(三一)外五名は數日來發熱病床中であつたが去三十一日チフスと決定隔離收容されたが同村では蔓延を恐れて大消毒を施すると共に縣衛生課から內服ワクチン一千人分の送付を請ひ大警戒に當つてゐる

入山チームの猛練習

湯本町入山チームは來る十二三兩日福島市營球場で催す都市對抗野球戰縣豫選大會に出場必勝を期して猛練習中

嫁傷害の公判

双葉郡木戸村の山田岡字堂の下農五十嵐鐵治(七四)が外出の歸途下駄を穿き違いて罵られたのを憤慨して伜の嫁に斬つけ重傷を負はせた事件は平支部關口豫審判事の取調べ中であつたが二日終結有罪に決して近く支部の公判開廷の由

故鈴木積善氏の 胸像(下)

大森勇

積善さんは良緣あつて當時平第二小學校に教鞭を取られてた田村文子女史と結婚された、媒妁の光榮は私夫妻に擔はして貰ふ事にした、文子さんは如來寺から第二小學校に通勤されたが、結婚されたのは十一月末の寒い頃だつたので、風邪を引いて肺炎でも起されては田村家に申譯がないとの媒妁人心理で風が南に廻る樣にと每朝每晚ラヂオの天氣豫報を聞いたものだ。その後積善さん夫婦は東京に出られて淨土宗を背景として敎化運動に私を滅して奮鬪された斯くして小壯宗教家として將來を屬望される樣になり井草幼稚園もトントン拍子に出來上つたのが三年前の十一月再生不能性貧血症と云ふ病氣に誘はれてあの世に旅立たれたのだ。文子さんは三十歲の若き身で三人の子供を抱いて未亡人となつたのである、その後の文子さてはあの世の積善さんの命令する儘に慈愛の手そのもの丶如く誠實の足そのもの丶如く死線を越えて働かれた、何時か平に來られた時同僚の二人の先生と私宅で晚餐を共にされた事があつたが乳呑子を胸に抱かれて右と左から眠くなつた子供さんにむつかれながら母性愛に引かされて血の鈍染み出る樣なその日〳〵の苦心談を涙ながらに語られた時は、私の樣な冷血漢でも胸が一ぱいになつて居たゝまらず座を外した事があつた。今や若心が報ひられて幼稚園の園兒の數が八十を越え、積善さんの胸像除幕式も東京一流の名士の後援の下に開催されたのである、文子さんを石城が生んだ賢夫人の一人に數ふる事に誰も異存がないことゝ信ずる。

御誂ひも既製品も
髙島屋洋服店
平二 電三八六

祝市制
平窪村前村長 草野常彌
前役場吏員一同

平町青年團の 見學旅行(7)
五月八、九日自動車にて

まさし記

紙料に更に松脂を混じてインキ止となし、その他種々な藥品、原料を混合され、色料を添加されて紙料調整機にかゝる、こゝを過ぎると均整された完成原質となつて抄紙機へとうつり、原質調整、稀砂器、濾漉機等を經て抄紙網上に出る、もう紙になつてゐる

世界的有名な長網式抄紙器は一分間千三百尺の把紙速度で紙をつくつてゐる、紙といつても未だ完全ではない、網部をはなれて毛布上へのつて濾紙は、ロールを通過する度に壓搾されて水分を失ひ、乾燥部に次々と迴轉して移され、華氏二百度以上の温度で乾燥された立派な紙となつて卷取られてゐる。

說明を聞くと非常にむづかしくて考へられるが、その工場の長さは五十間位だらう、あつといふ間に上等なカミ雜誌に用ふるカミが出來上つてゐるのだ。

かうして出來た紙は、紙質用途によつて更に卷換へられ或るサイズに切斷され光澤機にかけられて紙面に光澤を附與されるのである。切斷された紙は一枚一枚と女工に檢査され、算上されて包裝されその數へ上げるのもバラ〳〵と紙をもてあそんでゐるやうにしか見えないが、五百枚一連と完全に算上されるのだ、包裝荷造り…專賣獨特の荷造機…を見、文明社會の文化生活に一大關聯を持つ製シの過程を、案通りではあるが一通りの知識を得て、日比谷政治博へ向つた、

流石は東京だ、人と車の氾濫だ、その間をくゞりくゞつて會場につく

産業方面

大豆の新害虫 莖たま蠅（上）

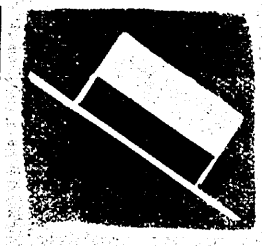
學界注視の研究で正体漸く判る

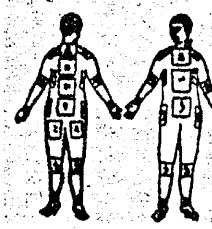
大豆作の害虫である『莖たまばへ』と『莢たまばへ』の二つはその被害の甚だしいのと害虫の本体が未だ不明であるので一昨年以來學界の話題となつて居り農林省西ヶ原農事試驗場の湯淺技師、盛岡高等農林學校の門前教授ほか各府縣農事試驗場などで研究を重ねてゐたのであるが最近に至つて『莖たまばへ』の研究が完成した、この二つの害虫は古くから内地にあつたものと想像されるが『莖たまばへ』が一昨年岩手縣下に發生して大豆作を全滅させ、つゞいて昨年茨城縣下の農林省雜穀試驗地の大豆に『莢たまばへ』が發生してその試驗を不能に陷らしめまた長野縣下の青刈大豆試驗地でも被害を農林省に報告して來たので學界の注目するところとなり害虫の生態などを明らかにすべく研究に着手されたもので湯淺技師の研究によれば、

『莖たまばへ』は一年一回の發生で莖に産みつけられた卵から幼虫となり、莖を食つて生長し蛹となつて土中で年を越し翌年の七、八月頃成虫となつて飛び出すことが判明した、

學名は同技師によつてプロフェルテイエラ・ソヤとして近く發表されることになつてゐる、

また『莢たまばへ』はその正体が未だ全く不明であるが大体『莖たまばへ』に似通ふものとの想像がついた。





町屋紺市平
院醫沼藤
番七〇五電

産科 婦人科 院長 木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑師 大岩俊雄
平市新川町九一
入院隨意 病室完備
木村病院
電話一六四番

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
平市田町 電話五一三番
高久病院
院長 醫學士 高久忠

漢方はりくすり
生公華
生公華には胃腸障害の恐れも無く即に劇作用も無く効力本位をモットーとする皇漢藥生公華のお品用を是非お奨め致します。
本藥は漢方貴藥のみ調劑せる粉末藥にしてこれに必らず玉子白味黄味共に良く練合ネル布に伸して使用するのです一回〳〵と其の効力があらわれ非常に使用する事に付てはりあいの有る名藥です。
使用法にあり。赤地に黒の文字で生公華と書いた旗の立て有るお店が特約販賣所です。
主効
肺炎、肋膜炎、氣管支扁桃腺炎、神經痛、ロイマス、關節炎、中耳炎、骨膜炎、ち疾腰冷痛、打身くじきルイレキ濕疹、凍傷火傷等に特に効有り
定價
四〇瓦入 五十錢
八〇瓦入 九十五錢
四〇瓦五袋入 二圓廿錢
四〇瓦十袋入 四圓
平市 五丁目角
山野邊藥局

夏が來た、夏が來た、
カンカン帽は踊る…冠つたタイプ
おゝ……涼味……涼味……涼味
¥.40より…¥1.30まで
1937型パナマハツト
¥75より…3.00…9.80まで
其の他可愛らしい……
お子様用帽子豊富陳列
にツルヤ（平市四 電一四〇）

一般印刷物も御引受致します
新いわき新聞社

便利で經濟な日下家政婦會の
派出婦を御利用下さいます
身元確かで品行方正ですから何をお任せしてもご安心です
會員（同志）の御加入を御誘ひ致します
派出なき閑暇に裁縫や編物を御教授致します
平市田町十八（西村屋横町）
日下家政婦會
會長 日下すい子
新設電話 七二三番

食事。喫茶。酒場を兼ねた。
レストラン
サロン
平田町 電三五二

診療科目
一、齒科一般
保存科、補綴科、繼齒架工科、齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科、
一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科醫院
院長 日本齒科醫學士 中野惠次
日本齒科醫學士 西川誠
平市田町（松月堂向ひ）電話五〇九番

『看護見習募集』
明雲堂眼科醫院（電話六六九）
平田町（三丁目裏川岸通）
入院應需（自炊の便あり）

齒科開業
此の度左記の處に診療所を開業仕り候間此段御通知申上候
診療科目
口腔外科、補綴科、保存科、齒列矯正科、小兒齒科、（其他齒科一般）
毎日晝夜診療 日曜午後休み
平市田町（藤田女學校前）
齋藤齒科醫院
東京齒科醫學士 齋藤賢三

和洋銅鐵、金物問屋
釜屋商店
電九・九九

勸業、復興、割引
各債券
現物買賣
平市仲間町
横山商店債券部
電話二七一番
振替東京九〇六一〇